

「スマートアプリ」を再活用した利用しやすいやさしい地域公共交通（山形県鶴岡市）

大東文化大学 社会学部 阿部ゼミ 地域公共交通チーム

導入した「デマンド型タクシー」と既存の決済システムを再活用し、地域の高齢者が気兼ねなく、安心して、買い物や通院に行ける街にする。

要約

- 過疎化と高齢化が進む中での地域公共交通の空白地域における高齢者の生活問題の改善。
- 既存の決済管理システムを再活用した電子マネーシステムを活用して利用しやすさと買い物しやすさを実感。
- 高齢者が買い物したくなる、安心して通院できる、利用しやすい地域公共交通システムの構築。

背景【山形県鶴岡市藤島地域の概要】

- 【藤島地域<八栄島・長沼地区>の公共交通】
- 1999年 庄内交通バス路線廃止（鶴岡～押切線）
- 2000年 町営バス「ぽっぽ号」運行（2003年廃止）
- 【鶴岡市藤島地域の高齢化率37.1%】
- 【2015年以降、地域課題として「交通不便」問題と新たな地域交通の導入課題】
- 2021年から「デマンド型タクシー」が導入、実験走行中
 - ⇒農村地域の高齢化、自動車前提の社会
 - ⇒地域の商店・医療施設の廃業、医療・買い物弱者
 - ⇒高齢者の交通事故増加、免許返納の困難さ

目的

- 導入した「デマンド型タクシー」と既存の決済管理システムを再活用した電子マネーシステムで高齢者が気兼ねなく、安心して、買い物や通院に行ける街にする。
- 高齢者が買い物したくなる、安心して通院できる、利用しやすい地域公共交通システムの構築。
- 今後・利用するであろう60代後半～70代の方を対象に、安心して利用と買い物しやすさを実感させる。
- 現状を改善するために「スマートアプリを再活用した利用しやすいやさしい地域公共交通」を提案する。

方法【地域住民ワークショップ】

- 「長沼・八栄島地区地域公共交通ワークショップ」
＜2022年9月実施＞
- 【デマンドタクシー<すいまる号>について】
- 便数や値段の安さを知らなかったからもっとPRすべき
- スマホでの予約制度がほしい
- バスとの乗り継ぎがスムーズだったらなあ
- 将来免許返納してから使うことになると思うから助かる
- 一回友達と試しに利用してみたい



- 【<すいまる号>を利用しない理由・免許返納】
- まだ自分で運転ができる、送迎してくれる人がいる
- 時間や場所の制限がある
- 電話予約に抵抗がある
- あと5年から10年ほど経ったら返納したい
- 事故を起こすのがこわいため返納を考えている
- 目が悪くなってきたため返納を考えている

デマンドタクシー<すいまる号>

「長沼・八栄島地区デマンドタクシー・すいまる号」
＜2021年6月試験走行開始＞
道路運送法第21条の規定に基づく乗合タクシーによる実証試験運行を2021年6月2日より開始。
2023年まで実証試験運行して、運行形態の適正性、利用状況などを把握し、最適な運行となるよう検討。
時刻・ルートは、大東文化大学・阿部ゼミで実施した住民アンケートが基に、鶴岡市役所藤島庁舎総務企画課担当と連携して、導入後も住民ヒアリングなど継続実施。

結果

- ◎提案①
プレミアム付き電子商品券「つるおかペイ」を利活用した地域交通電子マネーシステム
⇒新型コロナウイルス感染症対策消費喚起対策事業のため2023年1月のまでの期限で、**終了後の活用は決まっていない。**
- 「つるおかペイ」のシステムをそのまま地域公共交通マネーシステムとして**再利用＝転用・再活用。**
- 既存の決済管理システムを再活用するため初期投資はかからず、**運用済みでありノウハウがある。**
- ◎提案②
地域交通電子マネーシステム導入後の利用促進
追加機能として**配車システム、利用特典と自動決済機能、介護予防ポイント制度、「見守りツール」**など。



まとめ

- 既存のシステムを転用するため【ヒト・モノ・カネ・時間】を無駄なく、効率よく活用することになる。**
- アプリ版の年齢層は**50・60代で半数が利用**しており、市内の商店・飲食店872店で利用できる。
- 藤島地域以外の「デマンドタクシー」にも導入し、支払いの煩わしさだけでなく、**買い物利用にもリンク**できる。
- 発想に行った背景【ワークショップでのヒアリングから】
⇒ワークショップ参加者41名中スマホ保持者は28名
⇒地区内商店50店舗で使用可、**買い物の促進効果。**